

2026年7月22日

輸送動向について（2026年6月分）

1. 輸送概況

国内景気は、緩やかな回復にあるものの、中東地域における緊張状態は続いており、原油や石油化学製品の価格上昇に伴う影響がサプライチェーン全体に及んでいるほか、個人消費も弱含みで推移している。当社においては、農産品・青果物や食料工業品等の減送により、本年の輸送実績は前年を下回った。

コンテナは、エコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の減少により前年を下回ったほか、農産品・青果物は、前年に備蓄米の出荷があった影響により本年は減送となった。また、食料工業品は、ビール類を中心に荷動きが振るわず、前年を下回った。コンテナ全体では前年比 91.9%となった。

車扱は、セメントが、顧客の生産計画変更に伴う出貨量増加により前年を上回った。車扱全体では前年比 105.1%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 95.3%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,456	1,584	91.9%	4,383	4,750	92.3%
車 扱	581	552	105.1%	1,711	1,672	102.3%
合 計	2,037	2,137	95.3%	6,094	6,423	94.9%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	73	98	-24	74.9%
	化学工業品	130	125	4	103.8%
	化学薬品	89	90	-1	98.3%
	食料工業品	256	270	-14	94.8%
	紙・パルプ	150	154	-3	97.6%
	他工業品	105	108	-3	96.6%
	積合せ貨物	262	265	-3	98.7%
	自動車部品	70	70	0	101.1%
	家電・情報機器	31	32	-1	96.7%
	エコ関連物資	30	87	-57	35.1%
	その他	255	280	-25	91.0%
	コンテナ計	1,456	1,584	-128	91.9%
車 扱	石油	409	407	1	100.4%
	セメント・石灰石	92	67	24	137.1%
	車 両	56	55	1	101.9%
	その他	22	21	0	101.5%
	車 扱 計	581	552	28	105.1%
合 計		2,037	2,137	-100	95.3%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)